

# 議会だより



町立佐々幼稚園(3/15)修了証書授与式・閉園式

## ◆ 目次 ◆

□平成30年度当初予算 .....	2~4
□平成29年度補正予算・条例改正等 .....	5~6
□3月定例会 賛否表 .....	7~8
□一般質問6人が町政を問う .....	9~15
□常任委員会報告 .....	16~17
□先進地行政視察研修 .....	18
□小値賀町議会との合同研修会 .....	19
□議会日誌 .....	20

# 平成30年度一般会計の当初予算を

# 総額57億3,200万円

# 可決

## 一般会計当初予算の主な事業

平成30年度の主な事業	予算額
子ども福祉医療費助成事業(高校生まで対象拡大)	3,700万円
皿山公園の遊具設置工事費	工事費のため未記入
旧町立診療所・旧第1保育所・旧里町内会集会所解体工事	工事費のため未記入
町立佐々幼稚園解体工事	工事費のため未記入
予防接種・健康増進事業	7,740万円
母子保健事業(1歳半、3歳、5歳児健診)	2,470万円
道路新設改良事業(道路橋点検補修、舗装補修など)	2億3,660万円
公営住宅管理事業(口石団地ほか)	1億6,890万円
障がい者等福祉事業(自立支援給付・通所給付ほか)	3億5,780万円
児童手当事業(1万円、1万5千円)	2億6,820万円

## 3月定例会で審議したこと

3月定例会は、3月6日から22日までの17日間の会期で開催されました。32議案が上程され、全議案とも原案のとおり可決されました。主な内容として、条例の一部改正・制定廃止15件、道路認定変更1件、一般会計ほかの平成29年度補正予算6件、平成30年度の各種会計当初予算案8件及びポンプ場工事契約締結議案2件が提案されました。また、一般質問は、6議員が15項目の町政課題について質問しました。

### 主な質疑

**質問**

管理職手当について、行財政改革の中、また今後公共施設の改修など財政的に厳しい中、なぜ71%もの引き上げをされるのか。

**回答**

一般職と管理職のバランスを考え、妥当な数字と思う。

**質問**

コンビニ収納を検討されているが、経費面からすると口座振替の方が安いのではないか。

**回答**

平成31年度から利便性を考え、コンビニでも収納できるように準備している。今後も口座振替も

推進したい。

**質問**

広報紙の作成業務委託を3年で1,300万円が計上されているが、ホームページ活用での情報発信とは別の方法を考えているのか。

**回答**

広報紙作成のリニューアルを図り、住民の方に読んでいただけるような広報紙づくりに努める。

**質問**

子ども医療費助成は、30年10月分から高校生まで拡大されることであるが、領収証のコピーが不要となる「現物給付方式」の状況知りたい。

**回答**

町内の医療機関においては、今年の10月を目途

に実施できればと考えている。

**質問**

佐々中学校の運動部室横のトイレの改修工事について、過去に話があったが、事務引き継ぎがされていないのか。

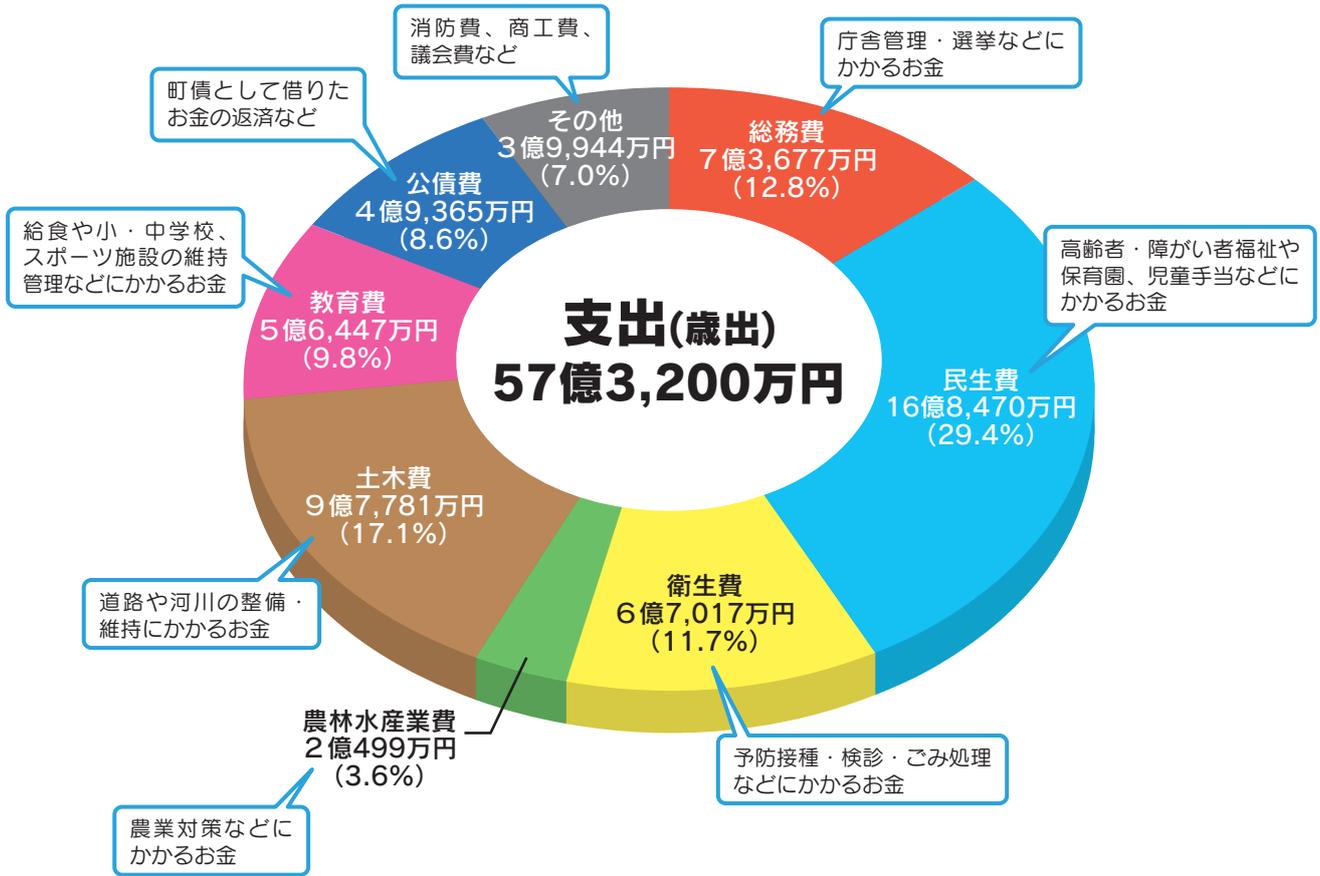
**回答**

必要性は認識している。今後十分検討させてほしい。

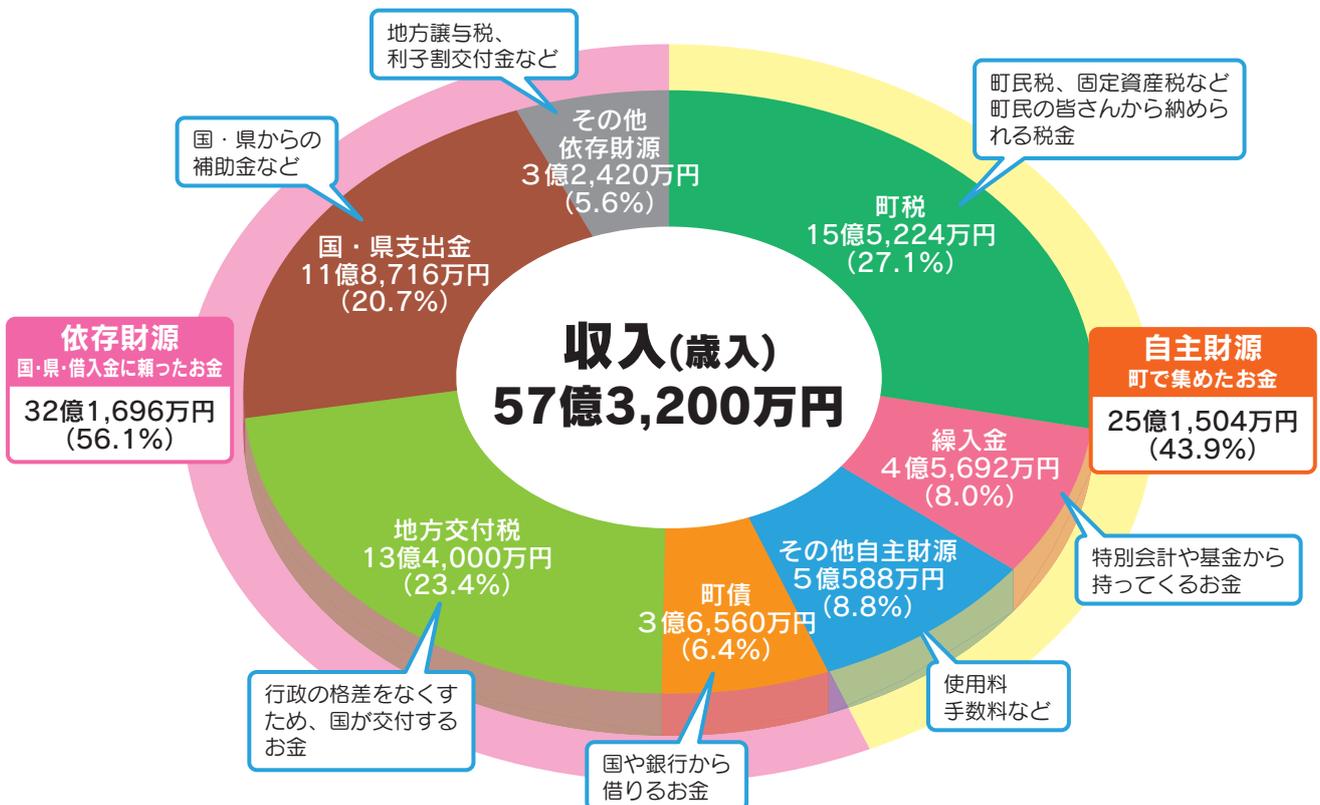


遊具整備が待たれる皿山公園

# 支出の内訳



# 収入の内訳



# 平成30年度特別会計及び企業会計の当初予算

(単位：千円)

会計名		30年度当初予算	29年度当初予算	前年度との比較
特別会計	国民健康保険	1,403,255	1,713,440	▲310,185
	介護保険	1,118,497	1,141,630	▲23,133
	後期高齢者医療	143,446	134,368	9,078
	国民健康保険診療所	9,175	9,730	▲555
	公共下水道事業	943,000	738,600	204,400
	農業集落排水事業	32,500	23,300	9,200
企業会計	水道事業	753,325	444,130	309,195

## 国民健康保険

国民健康保険税は、平成30年4月から全国的に「都道府県化」が実施され、「長崎県」が財政運営の責任主体となりました。

ただし、国保手続きや国保税の納入などは今までどおり「佐々町」が行います。

また、今まで課税されていた資産割の20%は廃止されます。

## 介護保険

本町の要介護(要支援)認定者数は、全国平均の約18%より低くなったため、第7期(30年度から32年度まで)の介護保険料は、今までの保険料月額(基準額)6,070円から5,726円に下がりました。

保険料年額(基準額)では72,800円から68,700円に改定され

ました。

## 後期高齢者医療

75歳以上(一定の障害のある方は65歳以上)の方が、加入する医療保険制度です。

この制度は、長崎県内すべての市町が加入する「長崎県後期高齢者医療広域連合」が主体になって運営しています。



予約制となっている町立診療所

## 国民健康保険診療所

町立診療所では、「もの忘れ外来」の診療を毎週月曜日に実施し、隣接する地域包括支援センターほか地域医療機関などと連携し、認知症の早期発見と早期治療に努めます。

## 公共下水道事業

下水道の計画的な経営基盤の強化及び財政マネジメントの向上を図るため、企業会計への移行を目指し、下水道の安定的な事業運営に努めます。また、下水道の施設管理については、下水道施設の機能が十分発揮できるように、処理場及び管路施設の適正な維持管理に努めます。

定化のため、加入促進活動並びに公共下水道への接続を推進します。



原水を浄水する上水道施設

## 水道事業

浄水場を含めた水道施設の経年劣化に伴う施設設備の更新や改良事業を行い、有収率の向上と安全でおいしい水を供給できるように努めます。

## 農業集落排水事業

農業集落排水施設の利用率の向上及び財政安



# 平成29年度

# 一般会計・特別会計・ 企業会計補正予算を承認

今回の補正は、主に各会計の確定と実績見込みによる最終調整で、ほとんどが減額計上であり、一般会計は、歳入歳出それぞれ1億2,215万9千円の減額で、補正後の予算総額は、59億9,661万4千円になりました。

## 一般会計補正予算の主な内容

### (歳入)

・児童福祉費負担金保育料	17,694千円増額	(決算見込みによる)
・公営住宅使用料	2,690千円減額	(入居者の所得減他)
・社会保障・税番号制度システム整備費補助金	3,829千円減額	(実績による)
・社会資本整備総合交付金(公営住宅整備事業)	4,041千円減額	(事業費減による)
・長崎県認定こども園施設整備補助金	8,372千円減額	(繰越しによる)
・ながさき鳥獣被害防止総合対策事業費補助金	2,106千円減額	(実績による)
・協働のまちづくり促進事業費寄附金(ふるさと納税)	6,000千円減額	(実績見込みによる)

### (歳出)

・町有地(旧国鉄寮跡地)造成工事設計業務委託料	2,868千円減額	(執行残)
・防災行政無線基礎撤去工事費	6,682千円減額	(執行残)
・ふるさと納税報償費	2,500千円減額	(ふるさと納税の減)
・電子計算費委託料(機器保守・ソフトメンテナンス)	6,727千円減額	(事業費確定による)
・認定こども園施設整備事業費補助金	7,972千円減額	(繰越事業による)
・不妊治療助成費	1,150千円減額	(実績見込みによる)
・合併処理浄化槽設置整備事業補助金	1,136千円減額	(6基の実績による)
・塵芥処理費修繕料	4,510千円減額	(実績見込みによる)
・ながさき鳥獣被害防止総合対策事業費補助金	2,105千円減額	(実績による)
・町道改良維持補修工事費	7,000千円減額	(次年度へ繰延べ)
・3世代同居・近居促進事業補助金	2,000千円減額	(実績による)
・広域消防事務負担金	4,807千円減額	(確定による)

## 平成29年度各会計の補正予算

(単位：千円)

会計名	今回の補正額	補正後の額
一般会計補正予算(第6号)	△122,159	5,996,614
国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	△16,885	1,736,308
介護保険特別会計補正予算(第4号)	保険事業勘定	△29,297
	サービス事業勘定	174
後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	2,440	138,779
公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	79,860	823,646

# 条例の一部改正及び制定・廃止可決

●災害による被災者に対する佐々町税の減免に関する条例の一部改正

災害を受けた被災者に対して、被害の程度により町税が減免できるといった条例で、引用の法律名称の変更。

●佐々町国民健康保険税条例の一部改正

平成30年4月1日から、国民健康保険運営の都道府県化が実施されることに伴い、保険税の課税額を改めるものであり、課税額の条文を国保事業費納付金の納付と改め、県が示す標準税率が3方式(所得割・均等割・平等割)で示されることから、資産割額を廃止するもの。

●佐々町後期高齢者医療に関する条例の一部改正

住所地特例の適用を受けて、従前の住所地の市の被保険者とされている方が75才到達により後期高齢者に加入した場合には、特例を引き継いで従前の住所地の広域連合被保険者とするもの。

●佐々町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例制定

居宅介護支援事業者の指定権限については、介護保険法の改正において、平成30年度から市町村に移譲される。地域包括ケアシステム構築とともに、ケアマネジメントの役割を担っている介護支援専門員の育

成支援を保険者機能の強化という観点から、厚生労働省で定める基準に従い条例を制定するもの。

●佐々町指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に係る入所定員等に関する条例の一部改正

指定に関する申請者は法人を追加する。暴力団員等の排除を独自基準として設けるもの。

●佐々町介護保険条例の一部改正

平成30年度から32年度までの第7期介護保険事業計画期間の保険料を定める。基準となる第5段階の保険料は、第7期では月額にして5,726円で、344円の減額となる。

●佐々町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例等の一部改正

介護予防支援の具体的な取扱方針、指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する内容について改正するもの。

●佐々町介護予防・日常生活支援総合事業の実施に関する条例の一部改正

事業の内容で、サービス事業とあるのを介護予防・生活支援サービス事業に改めるもの。

●佐々町立幼稚園設置条例等廃止の件

平成30年3月31日をもって佐々町立幼稚園の運営を終了することに係る幼稚園の廃止条例と、関連する条例の一部改正を行うもの。

●佐々町公民館設置条例及び佐々町公民館使用料条例の一部改正

平成30年3月31日付で、公民館別館(幼稚園2階)の供用廃止に伴う条例の一部改正を行うもの。

●佐々町体育施設条例の一部改正

体育施設を構成する佐々町武道館を削るもの。

●佐々町都市公園条例の一部改正

都市公園法の一部改正により、運動施設率を定めなければならず、設置基準を百分の五十と定めるもの。

●佐々町消防団設置条例の一部改正

副団長を2名とすることの改正を行うもの。

●佐々町住民総合センター設置条例の一部改正

構成する施設のうち、佐々町武道館を削り、佐々町地域交流センターを新たに追記する。

●佐々町防災会議条例の一部改正

大規模災害発生の際、自衛隊からの効果的な協力を得るため、陸上自衛隊の隊員を追加するもの。

# 平成30年3月定例会 賛否表

○は賛成 ×は反対

議案番号	議案件名	永安 文男	浜野 亘	永田 勝美	長谷川 忠	阿部 豊	橋本 義雄	平田 康範	須藤 敏規	川副 善敬	淡田 邦夫	評決数	結果
1	災害による被災者に対する佐々町税の減免に関する条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	淡田議長は採決に 加わりません	9対0	可決
2	佐々町国民健康保険税条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
3	佐々町後期高齢者医療に関する条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
4	佐々町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例制定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
5	佐々町指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に係る入所定員等に関する条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
6	佐々町介護保険条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
7	佐々町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例等の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
8	佐々町介護予防・日常生活支援総合事業の実施に関する条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
9	佐々町立幼稚園設置条例等廃止の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
10	佐々町公民館設置条例及び佐々町公民館使用料条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
11	佐々町住民総合センター設置条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
12	佐々町体育施設条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
13	佐々町都市公園条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
14	佐々町消防団設置条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
15	佐々町防災会議条例の一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
16	道路認定変更に関する件	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決

# 平成30年3月定例会 賛否表

○は賛成 ×は反対

議案番号	議案件名	永安 文男	浜野 亘	永田 勝美	長谷川 忠	阿部 豊	橋本 義雄	平田 康範	須藤 敏規	川副 善敬	淡田 邦夫	評決数	結果
17	平成29年度 佐々町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	淡田議長は採決に加わりません	9対0	可決
18	平成29年度 佐々町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
19	平成29年度 佐々町介護保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
20	平成29年度 佐々町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
21	平成29年度 佐々町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
22	平成29年度 佐々町水道事業会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
25	平成30年度 佐々町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
26	平成30年度 佐々町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
27	平成30年度 佐々町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
28	平成30年度 佐々町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
29	平成30年度 佐々町国民健康保険診療所特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
30	平成30年度 佐々町公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
31	平成30年度 佐々町農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
32	平成30年度 佐々町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○		9対0	可決
33	小浦ポンプ場長寿命化改築工事委託に関する基本協定契約締結の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
34	大新田第2排水ポンプ場ポンプ増設工事委託に関する基本協定契約締結の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9対0	可決	
請願1号	難病医療費助成制度の改善を求める請願書	×	×	○	○	○	×	×	×	×	3対6	不採択	

ここが聞きたい

# 6人が町政の方針を問う!!

## 活かそう町民の声

### 平田康範 議員(一問一答) ..... 10

- ① 庁舎整備事業について
- ② 農業振興と鳥獣被害対策について

### 須藤敏規 議員(一問一答) ..... 11

- ① 農林業政策について
- ② 教育行政の推進について

### 永田勝美 議員(一問一答) ..... 12

- ① 子育て応援、教育環境整備について
- ② 国保税引き下げについて
- ③ 玄海原発再稼働への対応について

### 永安文男 議員(一問一答) ..... 13

- ① 今後のし尿処理事業について
- ② 学校給食センター建設について

### 橋本義雄 議員(一括質問) ..... 14

- ① まちづくりについて
- ② 地場農産物の活用について

### 浜野 巨 議員(一問一答) ..... 15

- ① 福祉保健政策の基本となる「地域福祉計画」の策定期間について
- ② 皿山公園(西部自然公園)及び北部運動公園の整備方針について
- ③ 農業体験施設(旧学童農園)及び古川岳遊歩道の維持管理について



春の風物詩佐々川シロウオ漁

◎一般質問の記事について  
質問した議員が執筆したものです。

◎一般質問方法

【一括質問一括答弁】 議員が質問項目すべてを一括して質問。その後町側がその質問項目について一括して答弁を行います。

【一問一答方式】 文字どおり一つの質問項目ごとに町側から答弁を行います。

# 佐々町の懸案事項である庁舎整備の方針は 早い段階で今後の庁舎のあり方を判断する



議員 平田 康 範

本町の庁舎は、現行の耐震基準以前の構築物でありIs値も0.19となっている。また、耐用年数50年を間もなくむかえることから、庁舎整備の方針を質問する。

## 質問

自治体の庁舎は防災拠点機能を備えた重要な公共施設でもある。整備方針を早く示すべきと思うが、いつまでに示されるのか。

## 町長

長寿命化の耐震工事をするのか、建替えるのか、二者択一になるのでは。担当者レベルでの調査研究を踏まえ、その後管理者レベルでの検討を行い、できる限り早い段階で庁舎のあり方について判断したい。

## 質問

庁舎整備事業については、情報の共有化、行政の民主化などの観点からも私的諮問機関として、庁舎整備検討委員会を設置しなければ何も先に進まないと思うが、委員会の設置について、どのような考えか。

## 町長

耐震工事を行うのか、建替えを行うのか方針は未定である。庁舎を建て替える場合は、検討委員会の設置は必要になると考えている。

## 質問

安定かつ計画的な財政運営を行うためには庁舎整備の財源確保が重要であり、そのため庁舎整備基金の新設も必要と思われるが、どのような考えか。

## 町長

学校とか体育館、道路などの公共施設もあり、その整備資金も必要となってくる。公共施設整備基金も保有しているが、現在10カ年の公共施設等整備計画を策定しており、今後基金の再編など十分に検討し、庁舎整備に係る基金については、議会に提案させていただく。



防災拠点となる佐々町庁舎

# 農業振興と鳥獣被害防止対策は 県・農協など各種団体と協議しながら 活性化に努める

本町は中山間地域が多く営農には厳しい環境にある。新年度の農林業政策について質問する。

## 質問

中山間地域が多い本町の農業は、規模拡大は厳しく農地の実態に即した農地利用で農業を営んでいる。基幹産業である農業の振興策について新年度は、どのように取り組むのか。

## 町長

農業を活性化するためには農業生産の環境整備を推進し、佐々町に特化した農産物なども考えていきたい。また、県、農協など各種団体との協議も必要ではないかと思う。

## 質問

農業振興対策として集落営農組織を設立し地域農業の担い手育成などに取り組むことも政策の一つと思うが。

## 町長

集落農業を守る有効な一つの方法と思う。今後、十分に検討していきたい。

## 質問



農業を営むには大変厳しい中山間地の棚田

## 質問

志方、大茂地区に鹿が出没している。鹿の被害は農作物以外に林業への被害も出ているが、本町だけの捕獲対策などは効果がない。

## 町長

被害の実態調査を行い、今度、どのような対策が必要なのか関係機関と協議を行い進めていきたい。

# 農産物振興の成果と所得向上は

## 再生協議会で考えて、

## 町ができることはやる

### 質問

各種の農産物の振興に補助を行っているが、成果について、所得の向上は、どのようになっているのか。

### 町長

イチゴは、5年前と比較して農家1戸当たりの単収が1.5倍ぐらいになっている。

畜産は、飼養戸数とか頭数は減少傾向にある。10頭以上の平均飼養農家は、約2頭増えて22頭となっている。

平均価格も5年前と比較して平均68万円で取引されている。

加工用タマネギも裏作として平成26年に推進を開始して3.5ヘクタールとし、一定の成果が見られているのではないかと。



議員 須藤 敏規

### 質問

新たな奨励的な補助制度を見直して作って頂くことはできないか。例えば、ビニールハウスへの補助、小型トラクターの導入、高齢者でもビニールハウスでの野菜づくりに助成はできないものか。

再生協議会では作物推進で何十項目か書いてありますが、定期的に作付をして、皿山の直売所に一定量を納める様にするとか、検討していかれる考えはできないのか。

### 町長

いろんな補助が可能かどうか、全体的に考えてみて、方向性も検討する必要があるのではないかと。

### 質問

本来は農家個人が頑張つて、後押しするのが町の役目と思うが、課題は何とお考えか。農業について、どこまで介入しているのか。

### 町長

中山間地域で担い手が見つからない。耕作地が狭いということを考えれば、特産品を開発し販売

## 林業公社の貸付から脱退の考えは

## 難しいが、今後協議させて頂きたい

### 質問

林業公社の資料によると、長期借入金が二九八億円あり、佐々町の貸付残高が七二六七万円ある。条例によると「償還の見込みがないと認める時は、脱退できる」とあるが、脱退する考えはあるか。

### 町長

脱退というのが難しい。県と各市町一体でやっている。29年度の貸付残高が七二〇〇万円、返済が平成38年度から開始される。

現在の荒廃の山林が問題視されており、森林の適正な管理が重要になってくる。

各市町と話し合いながら、経営の削減とか収益改善とか、貸付削減に向けてやっていかなければと思ったい。今後協議をさせて頂きたい。

すること。再生協議会として何か考えて頂き、町ができることはやって行かなければと思う。

### 質問

林業公社の関係で平成24年6月に社団法人から公益社団法人に移行しているが、条例上間違いではないのか。

### 産業経済課長

佐々町林業開発促進資金の貸付条例、佐々町林業開発促進資金融資損失補償条例があるが、改正の必要がある。



## 新学習指導要領改訂でどうなる

## 保護者にパンフレット配布し

## 周知を図る

### 質問

昨年3月に「新学習指導要領」が改訂され、平成32年度から小学校の3・4年生が「外国語活動」5・6年生が「外国語科」となるが、29年度でどのような協議をされたのか。

### 教育長

現在は、数字による評価はしない特別な教科の位置づけとなっている。平成32年度からは、5・6年生については、教科として評価しなければならなくなる。

外国語科となった場合、読む、聞く、話す、書くと言った活動がどの程度望まれるかは、具体的な指導伝達を受けていない。

今回の改訂で、外国語活動に充てる時間が15時間増える。対応について、校長会、教頭会、教務主任会等々で検討してきた。

来年度から土曜授業を実施しようと言うことで考えている。

### 質問

評価の数値評価は、小学校3段階は変更はない。中学校は、関心、意欲、態度、それに技能、思考、知識、理解の4領域を見て総合して5段階、3段階で評価することになっている。それが今後、移行期間の後に変わる。

### 質問

保護者への周知についての考えは。

### 教育長

学校、PTAの役員会、各種会合で周知するように指導対応してきた。急ぎ、文部科学省のリーフレット等を活用して、全保護者に今回の改訂の要旨について配付周知を図りたい。

教育課程がどう実施されているか、今回の改訂の中にも授業の改善も含まれているので、検証、評価等も、学校運営協議会、外部の人材のお力を借りながらやっていきたい。

**トイレの改修やエアコン設置は、健康を損なうようなレベルにある・・・改善をエアコンは学校改修計画の中で進めていく、もうしばらく待って・・・**  
**トイレの改修については平成31年度に取り組んでいく・・・・・・・・**



議員 永田勝美

**質問**

この間マスクミでエアコン設置の報道がある。大村市が全教室にエアコン設置を行うこと、あわせて県下の設置状況が低いこと、全国では耐震対策から熱中症対策にシフトしていることなど。これらの報道は熱中症対策は社会的要請となつていくことを示している。教室の環境が健康を損なうレベルにあることは重くとらえて改善すべきではないか。

**町長**

学校施設の改修計画の中で進めていければと思う。トイレについては、平成31年度をめどに取り組んでいこうと考えている。



**就学援助制度の周知改善と入学準備費用の早期支給について**

**新入学児童生徒の学用品費の早期支給は来年3月から実施する**

**質問**

就学援助制度の周知など、前回議会以降の検討状況を示されたい。

**教育次長**

支給要件・モデルケースも「広報さざ」にも追記して配布している。学用品費などの早期支給は平成31年度新入生に

については3月までに支給するように進めている。



**国保税は他の保険と比較して2倍以上高い不平等な実態、町としても一般財源から繰り入れを行って引き下げるべきではないか**  
**法令があり、町としてもいかにともしがたい、一般財源繰り入れは考えていない**

**質問**

国保の税額について、年間所得300万円、夫婦と子供2人の世帯では年間45万4、

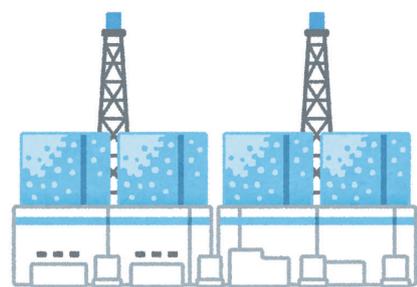
000円もの負担、月平均では37,867円、協会けんぽでは同じ所得で14,124円、実に2.68倍もの

格差がある。その要因は国が国保に対する負担を長年にわたって引き下げてきたことにある。  
 高すぎる保険税を軽減するため、町としてもできることがある。県下の14の市町では一般財源からの繰り入れが行われている。本町ではいかがか。

**町長**

国保税が高いという認識

**原発ゼロを求める世論は75%、玄海原発再稼働「反対」の声上げるべき**  
**危険性は十分承知しているが、反対の表明をするのはできない**



識はある。しかし、一般財源の投入という考えは今のところない。  
 国の負担が減ったのでこういうことになってしまった。都道府県化とあわせて国に負担を引き上げてもらうようなことをやっていきたい。





議員 永安文男

# し尿処理の対応を今後どうしていくのか 方向性を決めることで地元に入り 協議を進める

し尿処理事業については、町長はいつも最重要課題と言われながら、平成25年度には既に具体的な検討に入らなければならなかったのに、問題を先送りにされていたのではないかと思わざるを得ない。

## 質問

町の重要な問題としてどう捉え、どんな協議検討をされたのか。

## 町長

し尿処理の対応については、これまで大変ご迷惑ご心配をおかけ致しまして申し訳なく思っております。

平成27年4月から3年間、民間の施設で処理業務委託を行っています。今後のあり方について、自町処理、佐世保市との共同処理、民間委託継続という方向性を検討してきましたところでは、

町としては、佐世保市との共同処理が難しいのであれば、現状の民間委託を継続するよりも、前処理施設の整備が中長期的な経済性が優れている

との考えを持っています。

## 質問

地元にも早く入って、総合的な協議を進めるよう再三申し上げていたが、今まで入られていないのはなぜか。

## 町長

今まで地元の皆さまに説明する機会を設けることができなかったのは、大変申し訳なかったと思っております。

方向性が決まってもいらないのに地元説明に入っても混乱するのではと考えて、難しかったということです。

今後は誠意をもって、地元の方々に丁寧な説明をやっていかなければならないと考えています。



佐々浄化管理センター

## 質問

環境協定の問題等も出てくると思うが、新しい要素が入ってくることで、小浦4町内会のコミュニティ活動の中、地元対応はどう考えられているか。

## 町長

前向きで検討することになれば、その協定についても協議しなければなりません。何事をするにも小浦4町内会でされていると聞きますので、十分検討させていただきますので、十分検討させていただきます。

## 学校給食センター建設の 検討状況と方針決定は 公共施設等の整備総合計画の 中で反映させていく

学校給食の今後の方針として、行政経営改革委員会からの答申を受けて、センター方式を検討するとなっているが。

## 質問

現在の協議検討はどうか。また、方針決定はいつか。

## 町長

平成28年度に学校施設等整備構想の策定に取り組み、検討を行ってきました。老朽化対策は、喫緊の課題として取り組まなければならぬし、アレルギー食の対応も十分に必要性を感じています。

## 質問

子どもの命を守る重要な問題なので、急いで結論的な方向を見たい。

## 教育長

今後のことについては、財政的な裏づけが必要なことから、急ぎ検討していきたいと思っておりますが、今思っているのは、平成30年度に検討委員会を立ち上げ、基本計画の策定に取りかかりたいと考えています。



視察先の給食センター

# 佐々川の豊かな自然環境を生かす まちづくりをどう進めるのか 「佐々川流域再生会議」を発足し、佐々川の 自然環境を守り続けていくための検討を 進めたところです



議員 橋本 義雄

## 質問

総合計画の後期計画の中で「まちづくりの軸」として親水軸(佐々川)をあげられ、佐々川の豊かな自然環境を保全するとともに、さまざまな自然体験のできる軸づくりを進めます」とあります。

今年も春を告げるシロウオが海から上ってきました。またシロウオの次にアユが、それからウナギ・モクスガニが上がってきます。秋になるとそれぞれ成長し、戻ってきます。この素晴らしい環境をまちづくりに、どう生かしていけるのか、お聞かせください。

小学校によるアユの放流の計画はありますか。町長も一緒に参加するつもりはないですか。小学生にとっては、いい思い出になるのでは。

## 町長

自然環境をはじめとして、歴史、文化、教育な



シロウオ・アユの産卵場所

ど様々な分野において住民同士のつながりを構築しながら、子どもからお年寄りの方々まで多世代で交流を深め、地域づくりができないかと、今準備を進めています。

アユの放流については時間があれば、私も一緒に参加して放流させていただきます。放流の計画はありません。

## 質問

各地で地産地消の取り組みが行われています。地域で生産したものを地元で消費する取り組みで、安全安心の食材の提供と、なによりも生産者の意欲向上につながればと思います。取り組む考えはないですか。佐々町の農家は、米主体がほとんどです。給食だけでなく、地域の米を地元で消費する取り組みを考えてみたらどうですか。

## 町長

地元の食品、特産品、安全安心ということで学校給食を優先的にしていくことと、町としましても、地産地消の取り組みをやっつけていかなければならないと思っています。



農業振興は直売所から



みのりの秋(水田風景)



## 質問

アユもシロウオも、佐々町の古川橋から佐々橋の間で生まれ、海に下り海で育ち、春には佐々川を上ってきます。内水面協議会だけではなく、佐々町として佐々川の動植物の増殖に取り組んだらどうですか。

## 町長

環境を守るような仕組みを今後ともつくっていく、内水面協議会、各種団体と協力をして、県の指導・助言を受けながらやっつけていかなければならないと思っています。





議員 浜野 巨

# 皿山公園の整備は一気にすべきでないか 長寿命化計画により2カ年で 遊具の整備をする

皿山公園の管理棟があるファミリーランドは、ローラー滑り台等の遊具の老朽化により使用ができない状態が長く続いている。工事期間が使用できなくなるので、年次計画ではなく、一気に整備して欲しいと思い質問した。

## 質問

歴代の町長は「皿山公園」に力を注いでこられたが、年間利用者数2,500人の目標値は少なすぎると思う。

## 町長

佐々町で一番大きな公園なので、施設整備を検討し、十分な管理を行いなから、いつでも来ていただけたら、いつでも来ていただけたら、いろいろな仕組みを考えたい。

## 質問

利用拡大のため、温浴施設、ウォーキングコースやローラースケート場の整備など職員で意見を出し合ってみてはどうか。

## 町長

佐々川沿いを歩いて皿山公園までの遊歩道整備など、職員間でアイデアを出し、検討したい。

# 北部運動公園の整備の考えは ジュニアサッカー場は難しい

北部運動公園は、毎年利用者数が減少しており、県北地区には人工芝のサッカー場がないので、ジュニア用でも人工芝にすれば、Jリーグ選手を目指す子どもたちの夢実現のため、利用価値があると思う質問した。

## 質問

Vファーレン長崎がJ1に昇格し、夢はサッカー選手の子どものがいると思うので、人工芝のジュニアサッカー場に整備したらどうか。

## 町長

面積的に公式のサッカー場は難しい。

# 農業体験施設の利用促進は 当面は現状のまま、今後検討する

農業体験施設(旧学童農園)は、平成22年度に再整備したが、年間1,700万円をかけて管理している割には、利用者が伸びない状況で、今後検討すべき課題だと思い質問した。

## 質問

年間の利用者数の状況はどうか。

## 町長

年間で一般利用と学校関係の合計が7,200人ほど。

## 質問

利用者が少ないのは、原因が色々あると思うが、解決できるのか心配である。

# 古川岳遊歩道の危険防止修理は 対応はもう少し検討する

昭和62年に完成したが、擬木手摺や階段の石が倒壊したり、雑木が遊歩道上に生えたりしており、危険なので整備をすべきと思う質問した。

## 質問

遊歩道は危険な箇所があるが、今後どのように整備されるのか。

## 町長

対応については、補助金事業がないので、もう少し検討をさせてもらい、通れるようにする。

# 「地域福祉計画」の策定は 何時されるのか 平成30年度・31年度に策定する

「佐々町総合計画」の次に重要であり、福祉保健政策の基本となる「地域福祉計画」の策定計画が立てられていないので、早急に策定する必要があると思いい質問した。

## 状況はどうか。

## 町長

市は13市すべて策定済みで、町は8町のうち2町のみ策定している。

## 質問

佐々町の「地域福祉計画」はいつ策定されるのか。

## 住民福祉課長

平成30年度と31年度の2カ年で、策定を進めさせていきたい。

質問  
地域福祉計画について、県内の市町の策定

# 委員会報告

## 総務厚生委員会

### (所管事務調査)

平成30年1月30日

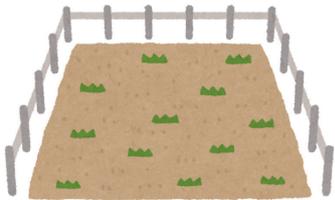
#### 1. 条例等について

##### ① 佐々町防災会議条例の一部改正について

委員構成の一部追加を行うとして、大規模災害発生の際、自衛隊の円滑かつ効果的な協力を得る目的で、自衛隊から防災会議に参加を求める。あらたに参加する予定者は大村駐屯地第四中隊長を予定している。

##### ② 未利用町有地活用について

現在沖田免にある、佐世保市西消防署・佐々出張所の老朽化にともなう移転新築建設事業



候補地として、佐世保市の希望がサンビレッジ沿いに庁舎を建設する案の提示があり、町としてもこの案に同意したい旨が報告され、審議した。設置のスケジュールとしては平成30年度に敷地整地・測量を行い、平成32年度完成予定である旨の報告を受けた。

#### 2. その他

佐々町消防団の副団長2名体制を実施したい旨の報告を受けた。

平成30年2月6日

#### 1. 条例等について

① 佐々町消防団設置条例の一部を改正する条例について

② 佐々町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例について

③ 佐々町指定地域密着型介護老人福祉施設等の指定に係る入所定員等に関する条例の一部改正について

④ 佐々町介護保険条例の改正について

⑤ 佐々町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法

に係る基準に関する条例(他関連条例)の一部改正について

⑥ 佐々町介護予防・日常生活支援総合事業の実施に関する条例の一部改正について

⑦ 佐々町国民健康保険税条例の一部改正について

⑧ 佐々町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

⑨ 災害による被災者に対する佐々町税の減免に関する条例の一部改正について

⑩ 佐々町都市公園条例

の一部改正について

⑪ 佐々町幼稚園設置条例等の廃止について

⑫ 佐々町公民館設置条例及び佐々町公民館使用料条例の一部改正について

⑬ 佐々町住民総合センター設置条例の一部改正について

⑭ 佐々町体育施設条例の一部改正について

武道館廃止に伴う使用料の廃止。

#### 3. 未利用町有地活用について

まちなか町有地(国鉄寮跡地)の不動産鑑定評価について

#### 4. その他

① 管理職手当改定等について

② 事業の繰越について

③ 幼保連携型認定こども園施設整備事業について

④ 平成30年度地方税制改正について

⑤ 佐世保市西消防署佐々出張所建設事業費市町別負担額について

⑥ 臨時非常勤職員の現況報告について

#### 2. し尿・ごみ処理について



# 産業建設文教委員会

## (所管事務調査)

1月24日

公共下水道事業全体  
計画・変更認可申請

全体計画面積362.

20 ha、許可面積36

2.20 haを20 ha増加

し、382.20 haとし

て認可変更の準備を進

めている。

今回の目的は、農業

集落排水地区の角山地

区と志方地区を公共下

水道施設への接続を行

う計画。

### 今後の雨水排水事業

佐々町には、中央地

区排水区、順手川排水

区、小浦排水区の3つ

の排水区があり、中央

排水区は、現在排水路

及びポンプ場を建設中。

大新田第2排水ポンプ

場の3基目の増設を、

測結果について説明。

(4)地盤への工事による

影響は、変動がない

レベルである。今後

も継続していく。

佐々町立佐々幼稚園

廃園に伴う備品移管

グラントピアノは

## (所管事務調査)

2月6日

町道鉄道官舎線道路  
認定変更について

まちなかの町有地売

却に伴い、終点の位置

が変更になったため、

道路変更認定を行うも

の。

今後の雨水排水  
対策事業について

小浦ポンプ場改築事

業費の増額は、エンジ

ン機種の見直しにより

減速機もセットで更新

する。また、工計変換

機盤、各計装設備、警

報表示盤も更新する。

佐々中学校へ、その他

は教育委員会所管の各

施設への移管を考えて

いる。

事業の進捗状況調査

所管課の103件の

事業進捗状況の報告を

受けた。

今後の進め方として、

小浦ポンプ場の早期完

成を目指して国への追

加要望を行ったため、

補正予算と繰越明許費

の補正等を上程する予

定。

佐々町都市公園条例  
の一部改正について

社会構造等の変化に

対応した公園の多機能

性を最大限に発揮する

ことを目的とする都市

公園法の一部改正によ

り、各地方自治体の条

例で運動施設率を定め

なければならない。

本町は、10%未満の

現状から百分の五十と

いうことで設定を予定

佐々町立幼稚園設置  
条例等の廃止について

平成30年3月31日を

もって、佐々町立幼

園の運営を終了するた

め、佐々町立幼稚園設

置条例等を廃止すると

ともに、関連する条例

の一部を改正するもの。

佐々町公民館設置  
条例及び佐々町  
公民館使用料条例の  
一部改正について

平成30年3月31日付

での公民館別館の供用

廃止に伴い、佐々町公

民館設置条例及び佐々

町公民館使用料の一部

を改正するもの。

佐々町住民総合  
センター設置条例等  
の一部改正について

平成25年度に解体し

た佐々町武道館の廃止

及び平成28年度に完成

した佐々町地域交流セ

ンターの設置に伴い、

佐々町住民総合セン

ター設置条例の一部を

改正するもの。

佐々町体育施設条例  
の一部改正について

佐々町武道館の廃止

に伴い、佐々町体育施

設を構成する施設及び

施設使用料の一部を改

正するもの。

その他の報告

県営ため池整備事業・

農村地域防災減災事業

佐々町地区において、

①帽子田ため池

②稗田ため池

③上小田ため池

の3カ所の整備を行う。

# 行政視察研修

## ◆ 視察日

平成30年2月14日(水)～15日(木)

## ◆ 研修施設

- ① おおき循環センターくるるん
- ② 芦北町学校給食センター

## ◆ 参加者

議長・産業建設文教委員5人

淡田 橋本 浜野 平田 永安 永田

## ◆ 研修テーマ

- ① 直売所の運営状況について
- ② 学校給食センターの整備について

2月14日

福岡県大木町 おおき循環センター『くるるん』

大木町は、福岡県の南西部に位置し、水郷柳川に隣接した農業の町で久留米市、筑後市、柳川市、大川市と町境をなしている。

また、福岡市から電車ですら約1時間、九州自動車道利用で約50分の距離にある福岡都市圏を構成する市町のひとつとなっている。

## ◎ 道の駅の状況

① 農産物直売所は、田園の中心地にある直売所としての利点を生かし、新鮮、安心な採りたて野菜をはじめ豊富な品数が揃っており、活気ある店舗である。

② レストランは、「食と農」をテーマに地域の食材にこだわったメニューが多く、野菜料理を中心とした和洋の料理が揃っている。

③ 農業体験や収穫イベントなども随時開催し、特産品の情報、地域の情報を発信されている。



農産物直売所の店舗内

## ◎ まとめ

おおき循環センター「くるるん」は、し尿処理循環施設も併設されているが、地元住民にとっては迷惑施設ではなく、むしろ歓迎する福祉施設で、直売所・レストランの利用など地域住民の憩い・集う施設となっている。

今回の視察研修を終え、佐々町の行政施策に反映できる点を多く見いだすことができた。



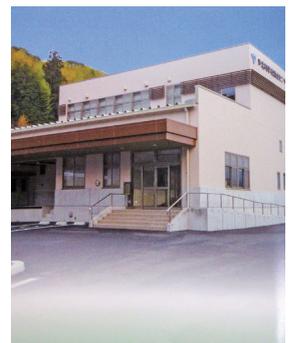
商品の品揃えが豊富な道の駅おおき

2月15日

熊本県芦北町学校給食センター

## 芦北町 学校給食センター

フルドライ方式  
鉄骨造り2階建  
敷地面積 2923.18㎡



1995年に佐敷町・大野村・吉尾村が合併し葦北町が発足、1970年に葦北町・湯浦町が合併し芦北町が発足、2005年には芦北町・田浦町が合併し現在の芦北町が発足したために小・中学校が多い。

## ◎ まとめ

給食センター方式の導入は、給食の質の向上とアレルギー対策をはじめ、給食環境の改善が大きな目標となる。

しかし、給食センターを建設することとなれば、財源の確保をはじめ、町有地を活用した建設地の選定、運営方針など多岐にわたる検討が必要となる。

## ◎ 主な運営方針

- ① 小・中学校など12校の4ルートを配送車4台で配送。
- ② 調理員は非常勤職員(1年雇用)
- ③ 給食費は、私会計で地区徴収員による徴収と個人納入の2形態となっている。

このためには、検討委員会を新たに設け、町民の理解を得るなどの努力も必要となってくる。

となっている。

# 佐々町小値賀町議会合同研修会

○日時

平成30年2月7日(水)

～8日(木)

○場所

北松浦郡小値賀町役場

○参加者

淡田・永安・橋本・平田・

永田・長谷川

(議員6人)

議会事務局(2人)

○研修内容

小値賀町議会の議会改

革の取り組みについて

「従来の慣例に縛られず

自分で考える議会改革」



講師・田口一博氏の記念講演

600人の町である。

リゾート施設やコンビ

ニはないが、自然と共存

し自給自足、物々交換が

今も日常として息づいて

いる。

中央集権型の地方自治

(受け身の議会)から地

方分権型の地方自治(能

動的に行動する議会)へ

と移行し、町民とともに

歩む議会、そして政策を

提言する議会へと方向性

を変えている。つまり、

地域の問題は地域で解決

し、自治体の将来を左右

する議会の役割を真摯に  
受け止め、全員協議会及  
び勉強会を年間20～30日  
開催している。また諸問  
題を共有する対策協議を  
月2回を目途に開催して  
いる。

また、議会活動として  
は、国、県、事業者への  
積極的な働きかけを重視  
し、各議員は議会報告、  
意見交換会等を自主的に  
開催している。このよう  
な活動をとおして町民と  
ともに歩む議会を確立し  
た。さらに、模擬広聴会、  
夜間議会では各議員の一  
般質問終了後、議論に対  
し傍聴者からの意見を  
伺っている。

このような、町民に議  
会の関心を促し、可能  
な限り住民の意見を政策  
に反映させる改革によ  
り、小値賀町は全国の

「マニフェスト大賞」「シ  
チズンシップ大賞」など  
を受賞している。  
うけた。

また、本町と小値賀町  
に、平成大合併時に単独  
行政を選択し、現在地域  
的に差はあるが、これか  
らの議会運営、活動を本  
来あるべき地方自治の姿  
に向けて、町長と議会、  
町民との新たな関係を構

築し、議会活動を行政に  
反映する方向性の示唆を  
また、本町と小値賀町  
議会合同セミナーでは講  
師、田口一博氏の講演で  
「ごみ焼却場関連」をテー  
マとした内容のワーク  
ショップを行い、充実し  
た研修会となった。



ワークショップの様子

# 議会日誌

〔1月〕	9日	議会だより編集委員会	14、15日	産業建設文教委員会 先進地視察研修 (福岡県大木町・ 熊本県芦北町)	13日	予算勉強会(3日目)
	15日	議会だより編集委員会	20日	熊本市議会 議員協議会	20日	議会運営委員会
	19日	議会だより編集委員会	23日	議会だより編集委員会	22日	議会運営委員会
	23日	議会だより編集委員会	23日	議会運営委員会	3月定例会(5日目)	
	24日	議会だより編集委員会	〔3月〕			
	30日	総務厚生委員会	6日	議会運営委員会		
〔2月〕	6日	産業建設文教委員会	7日	3月定例会(1日目)		
	7、8日	小値賀町議会との 合同研修会	8日	3月定例会(2日目)		
	9日	総務厚生委員会	9日	3月定例会(3日目)		
	12日	予算勉強会(2日目)	9日	予算勉強会(1日目)		

## 議会傍聴アンケート募集

佐々町議会では、傍聴をされた方からご意見・ご要望をいただき、今後の議会運営に役立ててまいりたいと考えています。アンケート用紙につきましては、議場傍聴席入口に設置しておりますのでご協力よろしくをお願いします。

## 次回定例会の傍聴ご案内

6月中旬頃を予定しています。日程については、広報無線、佐々町公式ホームページでお知らせします。

3月定例会傍聴数は19人でした。

## 町民の声を募集中!

TEL 62-2101  
FAX 63-5398

議会だより編集委員会  
からのお願い

「佐々町議会」の腕章を着用した議会だより編集委員が、取材の折に写真撮影を行うことがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

## 編集後記

桜の季節も去り、若葉かおる季節となりました。

3月議会は平成30年度の予算を審議し、新しい事業年度がスタートいたしました。

私たちも、これまで以上に精力的に町民の皆様方の負託に応えることができるよう努めてまいります。

また、議員は議会で何を議論し、何をしているのか、町民みなさま方に議会活動が伝わるよう工夫しながら紙面づくりに努めています。

これからも進化する議会だよりの紙面づくりのため、多くのみなさま方の声をお寄せください。

(平田 康範)



佐々町議会だよりはエコマーク認定の再生紙を使用しています。

印刷／コロニー印刷